

# 進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年10月5日

事業名:	野外体験型フリースクール事業
資金分配団体:	公益財団法人信頼資本財団
実行団体名:	認定 NPO 法人 TSC
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	滋賀県
事業対象者:	小学生～高校生

## I. 事業概要

### 事業概要

スポーツ・アート・音楽などを学ぶ感性教育、キャンプや自然観察を通じた環境学習、農業体験や漁業体験など地域社会との交流などを通じて、子どもたちが生き生きと過ごすことができる自然体験型フリースクールを開校します。新型コロナウイルス感染症により、以前から社会問題となっていた不登校児童生徒や、日々の学校生活にストレスを感じ SOS を発している児童問題が深刻化する中、学校に行きたくないと感じた児童がいつでも気軽に通うことができる公園や、キャンプ場のような自然学校をフリースクールとして運営し、体験や交流を通じて持続可能な社会の実現に貢献できる子どもたちを育てることで、問題解決に貢献します。

## II. 進捗報告の概要

### 総括

2021年5月に本助成の契約を締結し、6月から開校に向けての具体的な準備がスタートしました。8月には夏休み期間を活用して、プレ活動となる1週間単位で参加可能なサマーフリースクールを実施しました。2期(5日間ずつの合計10日間)開催し、それぞれ3名ずつの参加と少数ではありましたが、参加してくれた子どもたちには大変喜んで頂けたことと、本開校に向けての運営側のトレーニングとして良い学びとなったことから、有意義な活動となりました。

9月中を予定していた本開校は、下水道の許可申請の遅れにより10月5日開校に変更となりましたが、9月は緊急事態宣言の影響も大きかったことから、結果としては良いタイミングでの開校となりました。開校に向けて大きな告知は行わず、口コミや個別説明で私たちの想いを伝え、その想いに共感して下さった3名の生徒が開校初日からの入学者として集まってくれました。年内は運営側の力をつけることと、生徒たちがフリースクールの活動に慣れることに主眼を置きながら、口コミ中心での広報を予定しています。

### Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p>高島市及び周辺地域の小学生から高校生までの児童生徒が、学校以外の学びの場を選択できる環境を作ることで、本人及びご家族含め不登校に悩むことなく、各個人に合った教育環境を得られる状態を目指します。</p> <p>また、学校教育機関や行政と連携し、協力しながら子どもたちを見守っていける体制が整備された状態を目指します。</p>	<p>高島市初のフリースクールとして開校できたことで、学校以外の新たな選択肢を提供できるようになりました。周知については、まだ行き届いていない状態なので、今後は口コミを中心にフリースクールが開校したことを伝えていきます。</p> <p>高島市（学校教育課、子ども家庭相談課）に何度も説明に伺い、連携しながら子どもたちの教育環境を整えていくことを話し合いました。今後は、生徒の所属する学校との話し合いを進めることで、出席扱いとなる方向への調整など進めていきます。</p> <p>3名の高島市議会議員さんとそれぞれ個別に面会し、フリースクールの重要性について話し合い、行政側の協力体制が必要なことについても意見交換を行いました。</p>

活動	進捗状況	概要
フリースクールの開校	10月5日に本開校	<p>対象：小学1年生～高校3年生</p> <p>毎週火～金曜日（祝日は休み）</p> <p>自然体験を中心に、生きていく力をつけながら、自分の好きなことに出会い、夢中になれる状態を目指すフリースクール</p>

### Ⅳ. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>初年度は口コミ中心での募集を行い、5～10名の生徒数を目指していきます。2022年度春の募集時に、前年度の活動実績や、保護者の方の声など、実際の姿を伝えることで、興味があるが入学を迷っているというご家庭からの信頼を得ることで、20～30名の生徒数を目指します。その結果、自主財源で運営できる持続可能な経営状態を目標とします。</p> <p>高島市の不登校児童生徒数は、2020年63名、2021年68名と少子化の波に逆行して増加傾向にあります。新型コロナウイルスの影響による、学校でのふれあいや体験活動の減少、マスク着用の常態化など、子どもたちにとって負担となる環境へ変化してきたことも増加原因の背景として捉えられております。いじめや集団生活への不耐性だけでなく、新型コロナウイルスへの不安や、感染症対策によるストレスが高まった状態の子供たちが、週に1回からでも息抜きができ、自然の中で思いきり体を動かせる環境が、高島市の教育環境の一部として地域に受け入れられる状態を目指します。</p>

## V. インプット

		2020 年度	2021 年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥15,875,000	¥15,875,000	¥4,958,256	31%
	管理的経費	¥0	¥1,125,000	¥1,125,000	¥386,729	34%
合計		¥0	¥17,000,000	¥17,000,000	¥5,344,800	31.4%
補足説明		開校時期が1ヶ月遅くなったため、直接事業費については若干執行が遅れておりますが、概ね計画通りに執行しております。				

## VI. 事業上の課題

### 事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

10月5日に開校したため、今後さまざまな課題が出てくると思いますが、現時点で大きなリスクは抱えておりません。

その中でも、開校の告知については不登校状態であることを多くの方に知られたくないご家庭の存在など、大々的な告知を望まないご家庭があることで、周知の遅れが出るのが考えられます。

その対策として、子どもの教育環境について行動されている地域コミュニティと連携し、不登校に悩むご家庭と直接繋がる機会を創出していくことを考えております。

## VII. その他

### 自由記述

令和3年度全国学力・学習状況調査報告書によると、新型コロナウイルス感染症の影響に関して、勉強について不安を感じたと回答している小学生の割合は55%、中学生の割合は62.5%と報告されています。高島市子ども家庭相談課、及び学校教育課との面談では、不登校児童生徒が増えている要因の一つとして新型コロナウイルスの影響も認識されていました。しかし、その影響が根本原因であると特定できるような調査は現在行っていないとのことで、データとしての特定は現時点ではできませんでした。

新型コロナウイルス感染症による影響をはじめ、不登校児童生徒が増えている状況に対して行政や学校の立場では対応できる限界があることも認識しているとのことで、民間の力が必要であり、フリースクールの開校は大変喜ばしいことだと言って頂きました。今後は、更に連携を深め、官民協働で不登校児童生徒及び学校教育現場の課題に向き合って参ります。

## VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)	無	
広報制作物等	有	フリースクールの要項 ・趣旨、開校日、料金など掲載
報告書等	無	

## IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	定款の定める通り開催しております。	社員総会 年1回 理事会 年4回 運営委員会 月1回
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	